内容をご熟読ください

Y'S GEAR

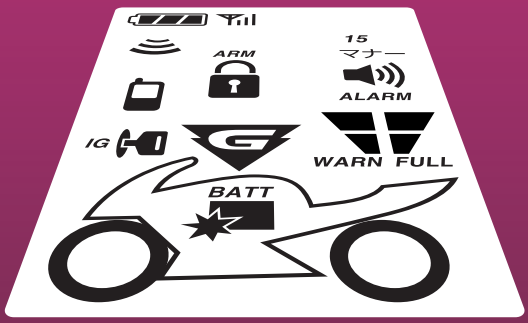
二輪車専用

盗難抑止機

セキュリティ ペイジャー

SP-1

取扱説明書



本商品は車両の盗難、イタズラを完全に防止するものではありません。

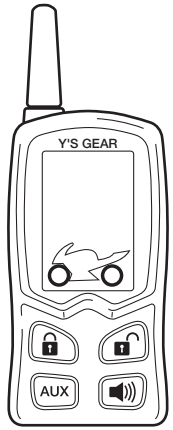
車両の保管、駐車時には機械式ロックを併用していただき、バイクカバーを装着して盗難の予防を心がけるようにお願い致します。

取り付けミスは誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。

車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

はじめに

この度はセキュリティ ペイジャーSP-1をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書に記した注意事項は、本商品を安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
ご使用の前に、本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。



●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、株式会社ワイズギアまでご連絡ください。
●本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。
●乱丁、落丁はお取り替え致します。
●本書に掲載されている内容は2005年8月1日現在のものです。

Y'S GEAR は株式会社ワイズギアの商標です。

目次

お取り扱い上の注意 4
- 安全上の注意 5
- 使用上の注意 5

梱包物をご確認ください 7
- 梱包物 7

リモコンについて 8
- 相互通信機能 8
- リモコンの充電について 10
- リモコンの充電方法 10

特長と機能 11
- ●標準センサについて 11
  - 三次元Gセンサ警報 11
  - イグニッション警報 11
  - 電源切断警報 11
  - 異常通知 12
- ●サイレン・音に関する機能 14
  - サイレン 14
  - サイレンタイム選択 14
  - サイレントモード 14
  - 動作確認音消音機能 14
  - マナーモード 14
- ●異常確認に関する機能 15
  - メモリー機能 15
  - 動作確認LED 16
  - 履歴確認方法 17
  - 履歴消去方法 17
- ●便利な機能 18
  - 強制サイレン 18
  - 迷惑防止機能 18
  - レジューム機能 18
  - 省電力モード 18

リモコンの操作方法 19
- 基本操作 19
  - リモコンの電源を入れるには 19
  - リモコンの電源を切るには 20
  - システム作動させるには 21
  - システムを解除させるには 22
  - 省電力モードからシステムを解除させるには 23
  - 鳴っているサイレンを止めるには 24
  - 強制的にサイレンを鳴らすには（強制サイレン） 25
  - リモコンの着信音を鳴らさないようにするには（マナーモード） 27
  - 鳴っているリモコン着信音を止めるには 27
  - 強制的に省電力モードに移行させる方法 28
  - 省電力モードから復帰させる方法 28
  - Gセンサの衝撃感度調整方法 29
  - サイレンタイム設定方法 31

リモコンの各種設定について 32
- リモコン設定モード 32
- バックライトの切り替え 33
- バイブモードの切り替え 34
- 着信音の変更 35

トラブルシュート 36
- 故障かな？と思ったら 36

保証とアフターサービス 37
- 保証書 37
- 保証期間 37
- 保証期間経過後の修理 37
- リモコンを紛失、破損した場合 37
- お願い 37
- 保証規定 38
- 保証書 39

お問い合わせ先 41

お取り扱い上の注意

本商品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

⚠危険　取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

⚠警告　取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

⚠注意　取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。

⃠禁止　禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

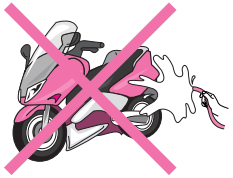
⚠ヒント　機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。

❗お読みください　強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

⚠警告



●メインユニット、サイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。
ショートをし、感電や機器が故障する可能性があります。
●リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。
システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
●メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある販売店にて行なってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取り付けを行なうと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。
●本商品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。
商品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。
また、分解および改造変更を行なった商品の保証は一切しておりません。

使用上の注意

(1) 適応車種限定品

取付可能な車種は、下記条件を全て満たしている車種に限定されています。

⚠危険

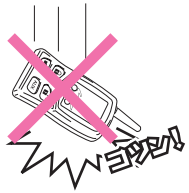
●DC12V車両専用
6V車両には装着できません。

⚠注意

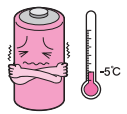
●本商品は、車両からの電源供給によって作動します。バッテリーの状態を確認してご使用ください。バッテリーが古かったり、電圧が低い場合には、車両のセルモーターが駆動しなくなり、エンジン始動ができなくなります。日頃からバッテリーの状態を確認し、十分なメンテナンスを行なってください。

(2) リモコンの取り扱いに関する注意

⚠注意



●リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
●リモコンは完全防水性ではないため内部へは絶対に水などが浸入しないように十分注意してください。
●水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
●持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
●専用充電池または市販の充電用単4乾電池以外は使用しないでください。
●電池は使用場所の温度の影響を受け易い性質を持っています。例えば冬に寒い場所で使用した場合、暖かい場所に比べると電池残量の表示が減りやすい傾向になりますが、室内に入るなどして温度が上がると、減っていたはずの電池残量の表示が増えることがあります。



お取り扱い上の注意

この装置は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。したがって次のことを厳守してください。
●商品に付いているラベルは、技術基準適合証明のしるしです。
　このラベルを絶対にはがさないでください。
●表示ラベルの付いている商品を分解したり、改造して使用することはできません。
●不法に改造して使用すると、法律により罰せられます。
●本商品は、日本国内専用であり、外国では使用できません。
　This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.
　外国では、電波法が異なり違法となります。

(3) 使用方法についての注意

⚠注意

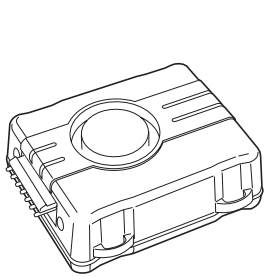
●本商品はスリープモードの設定などにより、低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。バッテリーの状態によっては、1週間以上車両をご使用されない場合などは、セルモーターが駆動せず、エンジン始動ができなくなります。バッテリーのメンテナンスを定期的に行ない、車両本体のエンジン始動状況等を日頃から十分にご確認ください。
●本商品の警告音、サイレンは、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご使用ください。
●何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であっても強制サイレンにより警報（サイレン）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。
●本商品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
●本商品はメインユニットおよびアンテナユニットは完全防水仕様ですが、故意に水をかけたり、落とすなどの行為はおやめください。
●本商品は電波を使用している性質上、周囲の環境（建物などの障害物、強力な電波や電磁波の影響など）や車両のバッテリー状態、リモコンの電池の充電状況によっては、通信のエラー等や混信を受けます。また通信距離にも影響が出ます。

お読みください

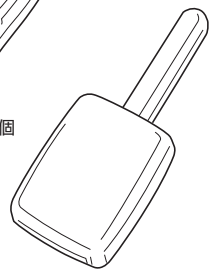
●本商品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
●本商品の取り扱いにより、お客様に不利益な状況が発生しても、当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
●当社では商品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行なっておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
●取り付けの前に必ず、梱包物をご確認ください。
●本商品の仕様、デザインおよび価格は予告なく変更される場合があります。
●本商品は予告なく販売終了させていただく場合があります。

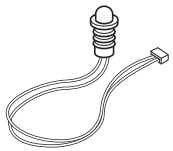
梱包物をご確認ください

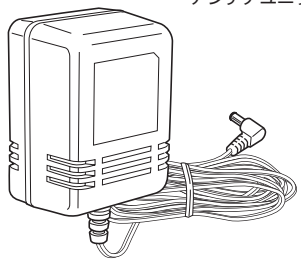
梱包物

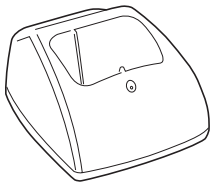

メインユニット×1台

リモコンユニット×1個


アンテナユニット×1個


動作確認LED×1個


AC/DCアダプタ×1個

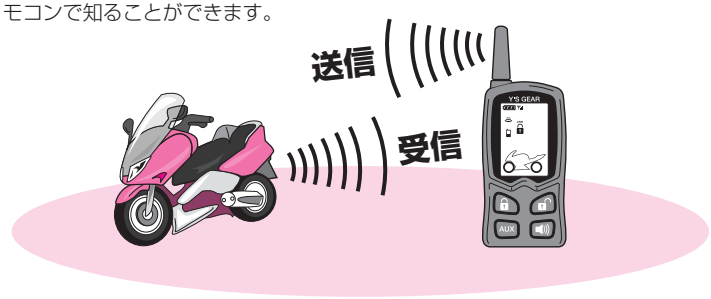

充電器×1個

その他：メインハーネス×1束、アンテナハーネス×1束
　　バックアップバッテリー×1個
　　取扱説明書×1部、取付説明書×1部
　　結束バンド×2本、両面テープ×3枚

リモコンについて

相互通信機能

リモコンを操作することでシステムの作動／解除や機能設定変更はもちろん、それらの操作完了を手元のリモコンで確認することができます。また、愛車の異常の確認も手元のリモコンで知ることができます。

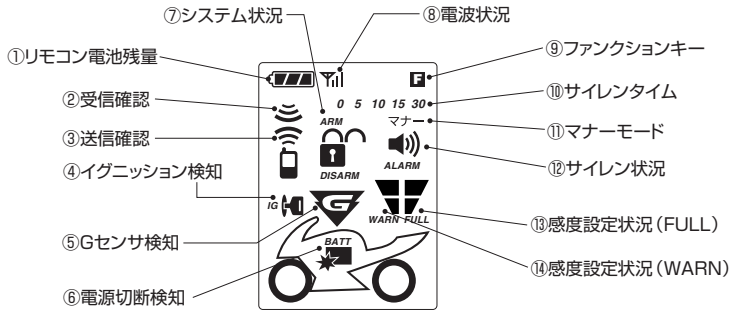


●リモコンの各部名称

⚠注意

●アンテナは固定式です。無理に引っ張らないでください。故障の原因になります。

●液晶表示アイコンの説明



①電池残量 ……現在の電池残量を表示します。
②受信確認 ……メインユニットからの受信を表示します。
③送信確認 ……リモコンからの送信を表示します。
④イグニッション検知 ……システム作動中にイグニッションスイッチを不正操作されたことを表示します。
⑤Gセンサ検知……システム作動中に衝撃または傾斜によってGセンサが検知したことを表示します。
⑥電源切断検知 ……システム作動中に電源を断線されたことを検知して表示します。
⑦システム状況 ……セキュリティーのON／OFFを表示します。
⑧電波状況 ……メインユニットからの信号受信時に表示します。
⑨ファンクションキー ……各設定モードに移行したことを表示します。
⑩サイレンタイム ……現在設定されたサイレンの作動時間を表示しています。作動時間を0秒に設定するとサイレント（消音）モードにすることができます。
⑪マナーモード ……リモコンがマナーモード（リモコン着信音なしでバイブのみ）に設定されたことを表示します。
⑫サイレン状況 ……サイレンが鳴った時、履歴として表示します。（警告音は表示されません）
⑬感度設定状況（FULL）…現在のGセンサのサイレン感度（大音量の連続音 ピーッ）を表示します。
⑭感度設定状況（WARN）…現在のGセンサの警告音感度（小音量の断続音 ピッ、ピッ）を表示します。

リモコンの充電について

●はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからお使いください。その際、充電時間が長くなることがあります。
●充電電池は消耗品です。完全に充電した後にご使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しい充電電池（充電用単4乾電池［1.2V］1個）をお買い求めください。
●下の表示は電池残量表示アイコンが充電容量が低下していることをお知らせしています。速やかに充電してください。

リモコンの電池が低下していることを表示しています。

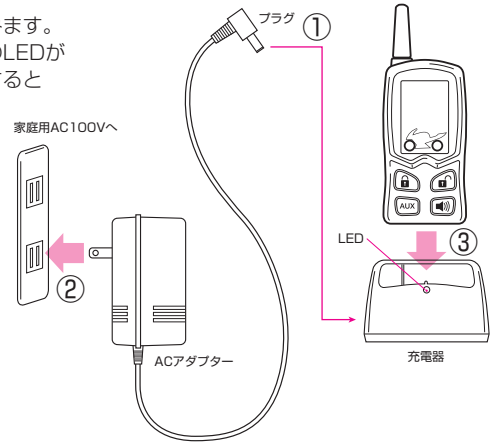
フル充電

リモコンの充電方法

①充電器のアダプター差し込み口にAC/DCアダプターのプラグを差し込みます。

②AC/DCアダプターを家庭用AC100Vコンセントに差し込みます。

③充電器にリモコンを差し込みます。
充電を開始すると、充電器のLEDが赤色に点灯し、充電が完了するとLEDが消灯します。



⚠ヒント

●リモコン電池の使用時間の目安は、セキュリティON時では満充電で待受け最大で約3日間です。
●充電時間は約3～4時間が目安です。
●使用時間や充電時間は、電池残量や周囲温度などの使用状況や環境により異なります。

⚠注意

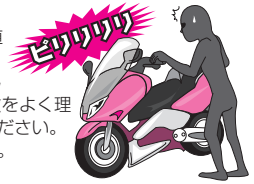
●必ず専用充電器を使用してください。
●充電器はAC100Vの家庭用電源以外は使用しないでください。
●リモコン用電池として一次電池をご利用になる際には、絶対に充電はしないでください。液漏れや破裂等をおこす危険があります。
●充電中はリモコンの電池残量表示がフル充電表示をしますが、すぐにフル充電になるわけではありません。充電器のLEDが消灯するまでお待ちください。

●標準センサについて

三次元Gセンサ警報

【目的】盗難やいたずら等による衝撃や傾きをキャッチ！

Gセンサの採用により弱い衝撃には警告音（小音量の断続音 ピッ、ピッ）を鳴らし、強い衝撃にはサイレン（大音量の連続音 ピーッ）が鳴り威嚇します。さらにセンサが車体の傾きをキャッチすると即サイレンを鳴らして威嚇します。また、坂道駐車の場合も傾斜角度を自動学習し、車体の傾きを検出します。
リモコンで衝撃感度を4段階で調整でき、誤作動を低減します。



※センサの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風その他）による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサの特徴をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。
※一般的にセンサで傷つけなどのいたずらを防ぐことはできません。
※傾斜の検出角度は約5度固定です。

イグニッション警報

【目的】乗り逃げ対策！

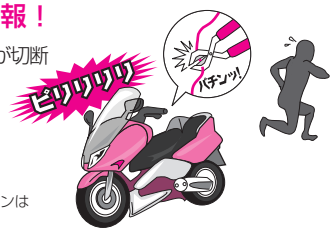
システム作動中に、メインスイッチを操作してエンジンをかけようとするとサイレンを鳴らして威嚇します。

●省電力モード（P.18）に入っている状態では、イグニッションセンサは働きません。

電源切断警報

【目的】バックアップバッテリーで警報！

システム作動中、車両とメインユニットの間の電源が切断されてもバックアップバッテリーで警報。
メインユニットのサイレンを鳴らして威嚇します。



⚠注意

●電源切断警報時は異常通信を優先させるためにオプションサイレンは鳴りません。

異常通知

センサが異常をキャッチした場合、サイレン発報に加え、リモコンに異常があったことを通知することができます。

ヒント

異常通知を30秒間のリモコンの着信音・バイブで知ることができます。
・マナーモード（P.27参照）
・バイブモードの切り替え（P.34参照）
・着信音の変更（P.35参照）

センサの異常検知時の動作について

本商品には異常を検知したセンサの種類に応じた発報があります。

	異常検知の種類	警告音／サイレンの鳴り方	リモコンの表示
Gセンサ	①弱い衝撃を受けたとき	警告音： ピッピッピッピッピッピッ	なし
	②強い衝撃を受けたとき	サイレン： ピ————ッ	ALARM 点滅
	④バイクを5°傾けたとき	サイレン： ピ————ッ	ALARM 点滅
イグニッションセンサ	⑤メインスイッチの 不正操作があった場合	サイレン： ピ————ッ	ALARM IG 点滅
バッテリーセンサ	⑥電源切断があった場合	サイレン： ピ————ッ	ALARM BATT 点滅

※サイレンタイムは30秒が初期設定値です。
15、10、5秒の設定が選択できます。0秒に設定するとサイレント（消音）モードになります。

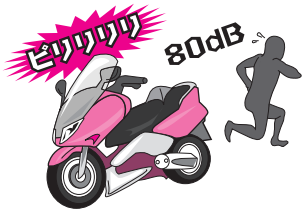
ヒント

●着信中はリモコン表示が点滅、着信後は点灯に変わります。

●サイレン・音に関する機能

サイレン

メインユニット内蔵のピエゾサイレンは80dBの高音量電子サイレンで犯罪抑止効果は抜群です。
防犯効果をさらにアップさせたい場合は大音量サイレン（別売オプション：90793-67129）の装着をお勧めします。



サイレンタイム選択

サイレンによる警報発報時間を0、5、10、15、30秒で選択できます。（P.31参照）

初期設定：30秒

サイレントモード

サイレンタイムを0秒にすることで、センサが異常をキャッチしてもサイレン音を鳴らさなくすることができます。異常はリモコンへの異常通知で知ることができます。
（P.12参照）

動作確認音消音機能

システム作動時（解除時）の操作で、一時的に動作確認音を消音することができます。
（P.21／P.22参照）

マナーモード

リモコンの着信音を一時的に消音し、バイブにすることができます。
（P.27参照）

●異常確認に関する機能

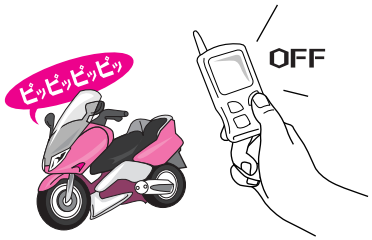
メモリー機能

システム作動中、サイレン音が鳴ったことを記憶し、システム解除時に動作確認音の回数が変化して、サイレンが鳴ったことをレポートしてくれる便利な機能です。

サイレンが鳴らなかった場合	2回の確認音
サイレンが鳴った場合	4回の確認音
迷惑防止機能が働いた場合	5回の確認音

⚠ヒント

●迷惑防止機能はP.18をご参照ください。



動作確認LED

本商品にはダイアグノスティック機能が内蔵されており、センサが異常を検出してサイレンが鳴った場合にLEDの点滅回数によってある程度特定することができます。

LED点滅回数	発報履歴内容
0回	発報なし
1回	発報なし
2回	Gセンサが反応
3回	メインスイッチがONされた
4回	バッテリー断線

⚠ヒント

●履歴削除またはメインスイッチをONにするとメモリー機能はリセットされます。
●システム作動からセンサが異常を検知せずに約24時間経過すると、動作確認LEDは消費電流を抑えるため消灯します。

システム作動時

異常の履歴を1つ記憶することができます。

システム解除時

異常の履歴を3つまで記憶することができます。

例：Gセンサが反応し、その後イグニッションセンサが反応し、発報した場合
2回点滅－3回点滅を繰り返します。
例：バッテリー断線が反応し、その後Gセンサが反応し、発報した場合
2回点滅－4回点滅を繰り返します。
例：イグニッションセンサが反応し、その後Gセンサが反応し、最後にバッテリー断線が反応し発報した場合
2回点滅－3回点滅－4回点滅を繰り返します。
※反応した順序や最後に反応したセンサの特定はできません。

履歴確認方法

システム作動中

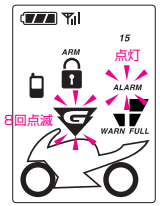
異常通知着信後、リモコン画面の表示により異常状況を知ることができます。
※ 🔊 ボタンを着信中や着信後に押すことでセンサ履歴は画面上から消すことができます。

システム解除中

セキュリティシステムを解除すると、センサ履歴が8回点滅して異常があったことを知ることができます。
※再度、センサ履歴を確認したい場合に履歴確認操作を行ないます。

履歴確認操作方法

① AUX ボタンを押した後に 🔊 ボタンを押します。
②リモコン画面にセンサ通知履歴が表示されます。



履歴表示の一例

履歴消去方法

システム作動中

センサ履歴消去はできません。

システム解除中

メインスイッチをONの位置にします。（エンジン始動します）
もしくは
① 🔊 ボタンを押した後に AUX ボタンを押します。
②リモコン画面に ***ALARM*** が8回点滅し、警告LEDが消灯し、センサ履歴が消去されます。

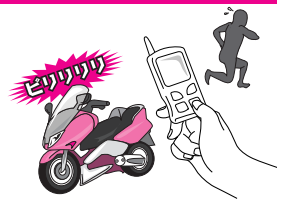
履歴表示の一例

●便利な機能

強制サイレン

いざというときに、意外と大きな声では叫べないもの。
でも、強制サイレンならリモコン操作で強制的にサイレンを鳴らすことができます。(P.26参照)

＊強制サイレンの作動時間はリモコンによる機能設定で選択された秒数に関係なく約30秒間鳴り続けますが、任意に停止させる事もできます。



迷惑防止機能

本商品には迷惑防止機能が内蔵されています。メインユニット内蔵の各センサが8回異常を検出しサイレンが鳴った場合、8回目の異常を検出した時点からセンサ検知が無効となります（9回目以降の異常は、解除時の履歴で確認可能です）。
システムを解除し、再度システムを作動することで迷惑防止機能はリセットされます。

レジューム機能

各種作動状態を記憶し、バッテリーが抜かれても電源復帰した時点で記憶状態を再現します。
機能設定された内容を記憶するため、メンテナンス等でバッテリーが外されても設定内容が残っているため再設定する必要がありません。

省電力モード

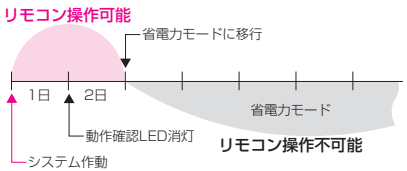
本商品には省電力モードが備わっています。省電力モードとは、センサの反応の有無に関わらず、システムを作動してから約48時間（約2日間）経過すると自動的にバッテリーの負担を軽減させます。

●省電力モード中は、イグニッションセンサは働きません。Gセンサ、バッテリーセンサは引き続き警戒を続けます。

⚠ヒント

省電力モードとは？

省電力モード中はリモコンの操作が一切できなくなります。ただし、異常検知時には異常通知を送信します。異常検知後1分間はリモコン操作が可能となりシステム解除などの操作ができます。
省電力モード中はリモコンからのシステム解除ができません。P.28の「強制的に省電力モードに移行させる方法、省電力モードから復帰させる方法」を参照の上、省電力モードから復帰させる必要があります。

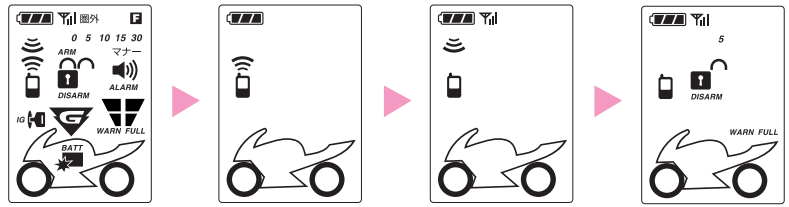


基本操作

リモコン操作により、システムの作動や解除および機能設定などを行ないます。メインユニットの車両取付、配線接続・充電およびリモコンの電池装着・充電が終了していることを確認してください。
なお、リモコンのボタン操作は、特に指示がない限り1秒ほどしっかりと押してください。また、メインユニットからリモコンに通信を行なっている間は、リモコンの操作が効かない場合があります。通信が終了してから再度操作を行なってください。

リモコンの電源を入れるには

①リモコンの AUX ボタンを3秒以上の長押しをします。
②「ピッ」と電源投入音が鳴り、バックライトと全てのアイコンが表示され（画面Ⓐ）、リモコン電源が入ります。
③リモコンとシステムが相互通信を行ない、システム状況を確認し、表示します。（画面ⒷⒸⒹ）



相互通信を行ない、システム状況を確認します。

システムが解除中の場合

⚠ヒント

●リモコンの電源が入っていない場合、システム作動中にセンサが異常を検出し、サイレンが鳴っていた場合は電源投入後に異常通知を受信します。

通信エラー表示について

ボタン操作による通信ができなかった場合、エラー音「ピピッピピッピピッ」が鳴ります。
エラー音が鳴った場合、車両の設定状況などは画面に表示されませんが、
AUX のいずれかのボタンを1秒ほど押すことで相互通信を再度試み、システム状況を確認します。

リモコンの電源を切るには

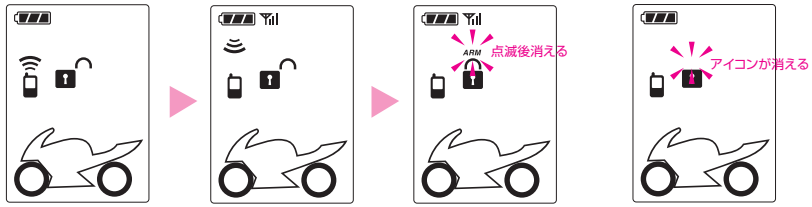
①リモコンの AUX ボタンを3秒以上の長押しをします。
②「ピッ」と電源投入音が鳴り、オートバイアイコン以外のディスプレイ表示が消え電源を切ることができます。

注意
●システム作動中に電源を切る際に、異常通知があると異常通知が優先されるため電源を切ることはできません。
電源を切る際は、履歴削除を行なってから電源をお切りください。
履歴削除方法（P.17参照）

システム作動させるには

システムを作動させて車両を警戒態勢にします。

①車両のメインスイッチをOFFにします。
②リモコンの 🔓 ボタンを押します。
③リモコンの液晶画面に ARM 🔓 と表示されます（画面Ⓒ）。
④同時にリモコンとメインユニットからシステム作動音が「ピッ」と鳴りシステムが作動します。



画面Ⓐ　画面Ⓑ　画面Ⓒ　画面Ⓓ

注意
●エラー音が鳴った場合は再度①からの操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。
●作動（の通信）に失敗した場合、画面Ⓓのようになります。再度、作動の操作を行なってください。

消音機能

本商品にはメインユニットからシステム作動音を鳴らさずに車両を警戒態勢にすることができます。

①リモコンの AUX ボタンを押した後に 🔒 ボタンを押します。
②リモコンの液晶画面に ARM 🔓 と表示されます。
③リモコンのみ「ピッ」とシステム作動音が鳴り、システムが作動します。

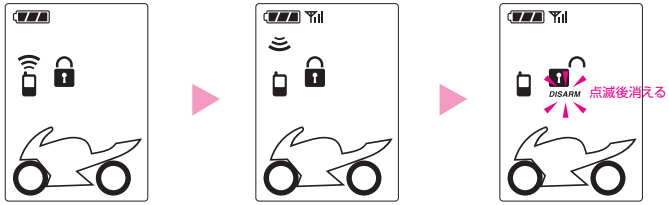
ヒント
●システム作動中は履歴削除できません。

注意
●本商品のリモコンユニットは機能設定などのデータ電送の際には約5秒間のレスポンスがあります。
●エンジン作動中にシステムを作動させることはできません（エラー音「ピピッピピッピピッ」が鳴ります）。
●リモコンのボタンはゆっくり確実に操作し、ディスプレイの発信マークを確認してください。

システムを解除させるには

システムを解除させて警戒態勢を解きます。

①リモコンの ボタンを押します（画面Ⓐ）。
②リモコンの液晶画面に DISARM と表示されます（画面Ⓒ）。
③同時にリモコンとメインユニットからシステム解除音が「ピッピッ」と鳴りシステムが解除します。



画面Ⓐ　画面Ⓑ　画面Ⓒ

⚠注意

●エラー音が鳴った場合は再度①からの操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。
●センサが異常を検知してシステム解除した場合はメインユニットが「ピッピッピッピッ」もしくは「ピッピッピッピッピッ」と鳴ります。

消音機能

本商品にはメインユニットからシステム解除音を鳴らさずに車両の警戒態勢を解除することができます。

①リモコンの AUX ボタンを押した後に ボタンを押します。
②リモコンの液晶画面に DISARM と表示されます。
③リモコンのみ「ピッピッ」とシステム解除音が鳴り、システムが解除します。

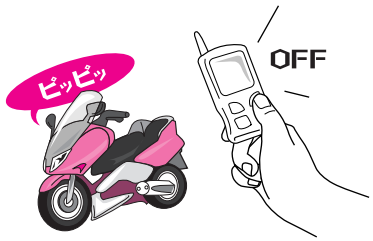
⚠注意

●センサが検知しても消音機能を使用した場合、システム解除音は鳴りません。
●本商品のリモコンユニットは機能設定などのデータ通信の際には約5秒間のレスポンスがあります。
●省電力モード中は、リモコンからのシステム解除ができませんので、省電力モードを解除してからリモコン操作を行なってください。

省電力モードからシステムを解除させるには

省電力モードを解除させてから警戒態勢を解きます。

①メインスイッチをONにします。
②メインスイッチをOFFにします。



⚠注意

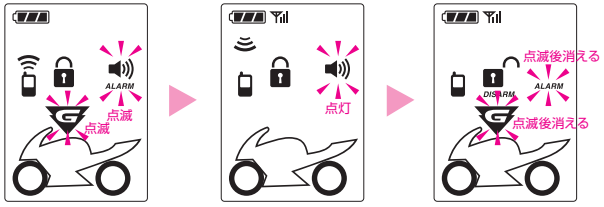
●省電力モード中は、イグニッションセンサは働きません。上記手順にて、メインスイッチをON→OFFにすると再度警戒を開始します。Gセンサ、バッテリーセンサは引き続き警戒を続けます。

鳴っているサイレンを止めるには

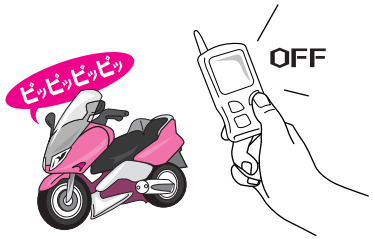
センサが異常を検知し、サイレンが鳴っているときに鳴っているサイレンを止めることができます。方法は2つあります。

方法①（サイレン停止後システム解除させる方法）

①リモコンの ボタンを押します（画面Ⓐ）。
②サイレン音が止まります。
③同時にリモコンとメインユニットからシステム解除音が「ピッピッピッピッ」と鳴りシステムが解除します。
サイレンが鳴った原因のセンサが点滅表示します（画面Ⓒ）。



画面Ⓐ　画面Ⓑ　画面Ⓒ

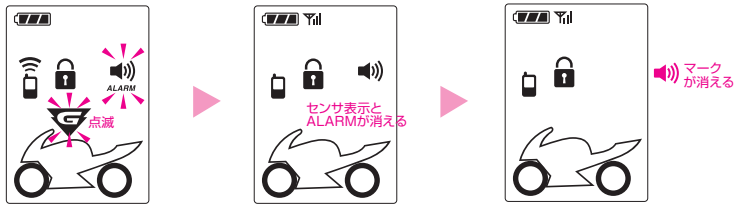


⚠注意

●異常通知を優先するため解除しにくい場合があります。その場合は異常通知を受信してから操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。

方法②（サイレン停止後も引き続きシステム作動中にさせる方法）

①リモコンの ボタンを押します（画面Ⓐ）。
②リモコンのブザー音が止まり、システム作動中のままサイレンを止めます（画面Ⓓ）。



画面Ⓐ　画面Ⓒ　画面Ⓓ

⚠注意

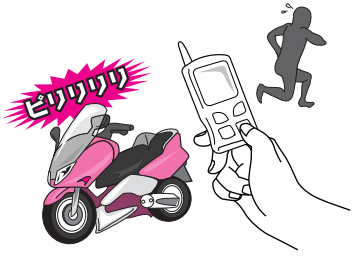
●異常通知を優先するため解除しにくい場合があります。その場合は異常通知を受信してから操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。

強制的にサイレンを鳴らすには(強制サイレン)

本商品は、リモコン操作によって強制的に30秒間のサイレンを鳴らすことができます。犯人への威嚇や周囲への通報を行なうときに使用します。この機能はシステム状態に関係なく使用することができます。

強制サイレンを行ないます。

①リモコンの 🔊 ボタンを3秒以上長押しします。
②リモコンの液晶画面上に 🔊 ALARM が表示されサイレンが鳴動します。



解除方法

①リモコンの 🔊 ボタンを押します。
②リモコンの液晶画面上から 🔊 ALARM の表示が消えサイレンが鳴動を停止します。

リモコンの着信音を鳴らさないようにするには（マナーモード）

本商品には、リモコンの着信音を鳴らさないようにするマナー設定することができます。
マナーモード設定時はバイブによって異常を知らせます。
なお、着信音以外の音（設定時の音など）は消音されません。

リモコンの着信音を鳴らさないようにします。

①リモコンの 🔊 ボタンを押してから 🔓 ボタンを押します。
②リモコンから「ピッ」と音が鳴り、リモコンの液晶画面上に マナー と表示されます。

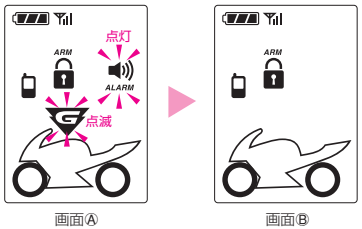
解除方法

①リモコンの 🔊 ボタンを押してから 🔓 ボタンを押します。
②リモコンから「ピッピッ」と音が鳴り、リモコンの液晶画面上から マナー の表示が消えます。

鳴っているリモコン着信音を止めるには

異常通知の着信音を途中で止める場合に使用します。

①リモコンの 🔊 ボタンを押します。
②リモコン着信音が停止します。
③原因のセンサ表示と ALARM の表示が消えます（画面Ⓑ）。



ヒント ● 🔊 ボタンを押すことでサイレンも同時に停止します。

強制的に省電力モードに移行させる方法

ヒント 本商品には省電力モードが備わっていますが、システム作動状態が約48時間（2日間）経過しないと省電力モードに移行しません。この操作を行なった直後から省電力モードに移行することができます。システム作動中、解除中関係なく移行することができます。

①リモコンの ボタンを押してから ボタンを押します。
②リモコンとメインユニットからシステム作動音が「ピッピッ、ピッピッ」と音が鳴り省電力モードに移行します。

注意

●省電力モード中はキー操作が無効になります（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。
●メインスイッチがONの状態の時には、省電力モードには移行しません。

省電力モードから復帰させる方法

①メインスイッチをONの位置まで回してください。
②省電力モードから復帰します。

注意

●メインスイッチをONにする際、省電力モードを使用している場合はGセンサが検知しないよう注意をして行なってください。

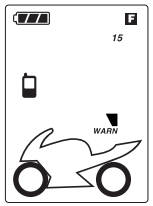
Gセンサの衝撃感度調整方法

Gセンサには、衝撃の強さによって警告音とサイレンが鳴ります。
弱い衝撃のときには警告音（WARN）、強い衝撃のときはサイレン（FULL）です。
リモコンから感度調整を行ないます。お買い上げ時はサイレン感度レベル3、警告音感度レベル3に設定されています。
・弱い衝撃に対して：警告音「ピッ、ピッ」
・強い衝撃に対して：サイレン「ピ――」
・傾斜に対して：サイレン「ピ――」

警告音（小音量の断続音 ピッ、ピッ）の作動感度を調整します。

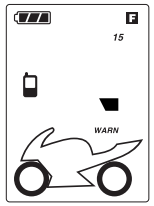
① AUX ボタンを押しながら ボタンを同時に押します。
②画面上に F と WARN と現在の感度レベルが表示されます。

感度0の場合



感度1の場合

③感度を上げる場合は ボタンを押します。
④感度を下げる場合は ボタンを押します。
⑤ AUX ボタンを押して感度設定の確定をさせ終了します。



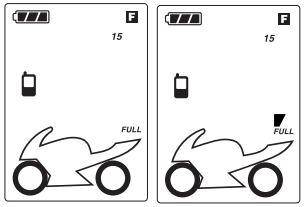
感度2の場合

感度3の場合

注意

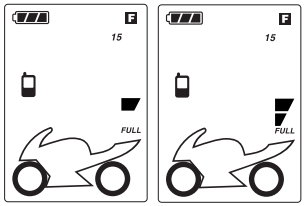
●設定中に約10秒間ボタン操作がない場合、設定は中断され設定前の状態に戻ります。その場合は再度設定してください。
●リモコンに異常通知の履歴がある場合は、設定ができませんので履歴削除をしてから設定してください。
●システム作動中に設定する場合は、異常通知があると異常通知が優先されます。設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、履歴削除をしてから再度設定してください。

サイレン（大音量の連続音 ピーッ）の作動感度を調整します。



感度0の場合　感度1の場合

①[AUX] ボタンを押しながら 🔓 ボタンを同時に押します。
②画面上に **F** と [FULL] と現在の感度レベルが表示されます。



感度2の場合　感度3の場合

③感度を上げる場合は 🔓 ボタンを押します。
④感度を下げる場合は 🔓 ボタンを押します。
⑤[AUX] ボタンを押して感度設定の確定をさせ終了します。

⚠注意

●設定中に約10秒間ボタン操作がない場合、設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、再度設定してください。
●リモコンに異常通知の履歴がある場合は、設定ができませんので履歴削除をしてから設定してください。
●システム作動中に設定する場合は、異常通知があると異常通知が優先されます。設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、履歴削除をしてから再度設定してください。

警告音（WARN）、サイレン（FULL）の感度設定がともに0の場合でも、傾斜による警戒は続いています。
強すぎる衝撃を加えた場合、傾斜としてセンサが読み取ってサイレンが鳴る場合があります。

サイレンタイム設定方法

サイレンの作動時間は以下から設定できます。　初期設定：30秒

0秒　5秒　10秒　15秒　30秒

サイレンタイムを設定します。

15秒の場合

①🔊ボタンと 🔓 ボタンを同時に押します。
② **F** と現在のサイレンタイムが表示されます。
③サイレン時間を短くするには 🔓 ボタンを押します。
④画面上の数字が 🔓 ボタンを押すたびに30秒、15秒、10秒、5秒、0秒と変化します。
⑤サイレン時間を長くするには 🔓 ボタンを押します。
⑥画面上の数字が 🔓 ボタンを押すたびに0秒、5秒、10秒、15秒、30秒と変化します。
⑦[AUX] ボタンを押してサイレンタイム設定の確定をさせ終了します。

⚠注意

●設定中に約10秒間ボタン操作がない場合、設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、再度設定してください。
●リモコンに異常通知の履歴がある場合は、設定ができませんので履歴削除をしてから設定してください。
●システム作動中に設定する場合は、異常通知があると異常通知が優先されます。設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、履歴削除をしてから再度設定してください。

リモコンの各設定について

リモコンの各設定モードでは、下記の3つの設定変更を行なうことができます。

バックライトの切り替え

ボタン操作時や着信時のバックライトの有無を設定変更できます。

バイブの切り替え

作動／解除や異常通知の着信バイブの有無を設定変更できます。

着信音の切り替え

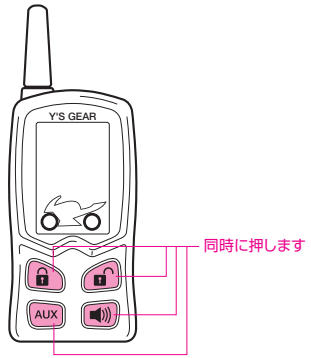
作動／解除や異常通知の着信音を6種類の中から選択することができます。

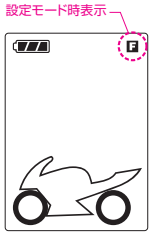
各設定を行なうには下記の操作を行ない、設定モードに移行する必要があります。

リモコン設定モード

① 🔒 🔓 AUX 🔊 の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。





※設定モード時は「電池残量」と「ファンクションキー」のアイコンのみが表示されます。

バックライトの切り替え

初期設定：ON

設定モードに移行します。

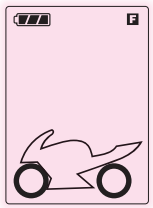
① 🔒 🔓 AUX 🔊 の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。

バックライトを点灯するように設定します。

① 🔒 ボタンを押すと「ピッ」と鳴りバックライトが点灯します。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。



バックライトを点灯させないように設定します。

① 🔒 ボタンを押すと「ピッピッ」と鳴りバックライトが消灯します。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

バイブモードの切り替え

初期設定：ON

設定モードに移行します。

① 🔓 🔓 AUX 🔊 の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。

バイブを作動するように設定します。

① 🔓 ボタンを押すと「ピッ」と鳴りバイブが作動します。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

バイブを作動させないように設定します。

① 🔓 ボタンを押すと「ピッピッ」となりバイブが作動しなくなります。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

着信音の変更

着信音は **6種類** の中から選択することができます。

設定モードに移行します。

① 🔓 🔓 AUX 🔊 の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。

着信音を設定します。

① 🔊 ボタンを押すと着信音が鳴り、押すたびに順次変更ができます。

②着信音を選択します。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

トラブルシュート

故障かな？と思ったら

Q1.勝手にサイレンが鳴る

A1.メインユニットの固定が不十分
→確実に固定してください。

A2.電源線の接触不良
→電源線を確実に接続してください。

A3.Gセンサの感度が強すぎる
→感度を絞ってください。

Q2.リモコンが利かない

リモコンの画面表示である程度判断できます。

A1.ラジオ局など無線局が近くにある
→バイクの近くに寄って操作してください。

A2.リモコンの電池がない
→充電してください。

A3.リモコンの電池の接触不良
→電池を入れ直してください。

A4.水の浸入があった
→お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。
＊水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。

A5.省電力モードに移行している
→省電力モードを解除してください。

Q3.システムの作動ができない

A1.イグニッションONになっている
→イグニッションをOFFにしてください。

Q4.叩いてもサイレンが鳴らない

A1.システムをONにしてから5秒以上待っていない
→システムをONにしてから5秒以上待ってください。

A2.車体を揺らしている
→揺れには反応しません。

A3.感度が低すぎる
→感度を上げてください。

A4.メインユニットの固定方法が最適でない
→説明書通りに固定してください。

A5.迷惑防止機能が働いている
→迷惑防止機能を解除してください。

Q5.イグニッションセンサが働かない

A1.作動音がしてから5秒以上待っていない
→システムをONにしてから5秒以上待ってください。

A2.イグニッション線の接続不良
→イグニッション線を確実に配線してください。

A3.迷惑防止機能が働いている
→迷惑防止機能を解除してください。

A4.省電力モードに移行している
→省電力モードを解除してください。

上記のテストを行なっても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

保証とアフターサービス

保証書

この商品の保証書は次頁に添付されています。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容により修理いたします。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店、または（株）ワイズギアにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有料修理いたします。

修理のためお買い上げの販売店にお持ちになるときは、メインユニットとリモコン、アンテナユニット、動作確認LED、その他オプションのサイレン等を一緒にお持ちください。

リモコンを紛失、破損した場合

お買い上げの販売店、または（株）ワイズギアにご相談ください。

お願い

保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証内容

お買い上げいただいたセキュリティ ペイジャーSP-1（以下、商品といいます。）を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無料で修理いたします。（以下、この無料修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換あるいは補修により行ないます。
なお、取り外した部品は、弊社の所有となります。

2. 保証期間

保証修理を受けられる期間は、商品の購入日（お客様が購入された日）より1年間とします。

3. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お買い上げいただいた販売店へこの保証書をお持ちいただき、保証修理をお申し付けください。これにより保証修理をいたします。この保証書を提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。

4. 保証を適用しない事項

⑴ 次に示す現象、不具合については保証修理適用外となります。

① 使用損耗または経時変化により発生する現象（樹脂部品等の自然退色およびひび割れ、腐食、錆、劣化ならびにこれらに類するもの）
② 機能上影響のない感覚的現象（音、振動等）

⑵ 次に示すものに起因する不具合は、保証修理適用外となります。

① 弊社純正または弊社の指定する以外の部品、材料等の使用
② 取扱い、保守、整備の誤り、不備、または不適当
③ 取扱説明書などにより弊社が示す取扱方法と異なる使用
④ 弊社の認めていない修理、改造、部品・付属品の装着
⑤ 地震、台風、水害等の天災、事故
⑥ 5. の「お客様にお守りいただく事項」の不遵守
⑦ 薬品、塩分等の外部要因

⑶ 次に示すものの費用は負担いたしません。

① お買い上げいただいた販売店以外での修理の費用
② 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、休業補償、営業損失等）
③ 盗難等によって発生した車両の損害額

5. お客様にお守りいただく事項

次の事項を必ずお守りください。
取扱説明書などにより、弊社の定める取扱い方法および仕様に従った正しい使用

6. 保証書の発効

この保証書は、お買い上げいただいた販売店が、この保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効になります。

7. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売され、かつ使用される商品に限り適用いたします。従って、日本国外に持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りになります。

8. その他

この保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無料修理をお約束するものです。従って、保証期間経過後に発生した不具合の修理は有料です。

株式会社ワイズギア
〒432-8058
静岡県浜松市新橋町1103
TEL 053-443-2180
FAX 053-443-2187

お問い合わせ先

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア　営業部 053-443-2180

〒432-8058　静岡県浜松市新橋町1103番地　FAX 053-443-2187
インターネットホームページ　http://www.ysgear.co.jp/

※カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のクレーム及びメーカーサービスを受けられない場合があります。

製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（待機時）	約10mA
●平均消費電流（警報時）	約160mA
●サイレン音圧	約80dB
●使用周囲温度	約−40℃〜+80℃
●メインユニット外形寸法	約66×74×27mm
●メインユニット質量	約110g

操作一覧

リモコンのボタンの操作は、特に指示がない限り1秒ほどしっかりと押してください。
メインユニットからリモコンに通信を行なっている間は、リモコンの操作が効かない場合があります。通信が終了してから再度操作を行なってください。
各操作の詳細につきましては、本書記載の各項目の内容をご確認ください。

システム作動	🔒
システム解除	🔓
強制サイレン	🔊 を長押し
マナーモード	🔊 を押してから 🔓
省電力モード	🔊 を押してから 🔒
衝撃感度調整 ・警告音 ・サイレン	 AUX を押しながら 🔒 AUX を押しながら 🔓
履歴確認	AUX を押してから 🔊
履歴削除	🔊 を押してから AUX
サイレンタイム設定方法	🔊 と 🔓 を同時に押す
リモコンの各設定	🔒 と 🔓 と AUX と 🔊 の4つのボタンを同時に押す ①バックライトの切り替え 🔒 を押す ②バイブの切り替え 🔓 を押す ③着信音の変更 🔊 を押す

発売元

SPECIAL GEAR & ACCESSORIES
Y'S GEAR

株式会社ワイズギア
〒432-8058　静岡県浜松市新橋町1103番地
TEL.053-443-2180 FAX.053-443-2187
http://www.ysgear.co.jp/